

Scuttle Buttin'

PERSONNEL : Stevie Ray Vaughan (g)

Music by Stevie Ray Vaughan

採譜・解説=遠藤康之 (Seventh)

90年夏、スティーヴィー・レイ・ヴォーンが不慮の事故によりこの世を去ってから早くも14年がたとうとしている。彼はその庄巻のプレイでブルース・ファンのみならず、ロック・ファンや、一般の音楽ファンの心をつかんだ偉大なギタリストである。その存在は今や伝説となっており、彼の音に影響されたギタリストは計り知れない。ここでは彼の最高傑作とも評される2ndアルバム「テキサス・ハリケーン」より、1曲目に収められているインスト・ナンバーを取り上げた。これはライブでも必ずと言っていいほどプレイされていた代表曲と言える定番もので、中身は単純な3コードのブルースをペンタトニックで弾きまくっているものだが、極太ゲージの弦を張ったス

トラトで奏でる超太いサウンドと湧き出てくるようなその勢いは、容易にコピーできるものではない。ぜひとも気合いを入れてチャレンジしてもらいたい。なおチューニングは、全弦半音下げである。

►Guitar

①：ド・アタマから入るのが、曲の肝となるこのフレーズ。Eマイナー・ペンタトニック+♭5度のフレーズをスライドとプリングを絡めて弾いているのだが、連続してこのスピードでさらさらと弾きこなすのはなかなか難しはずである。

②：ロー・ポジションでのE⁷⁽⁹⁾を弾いていると思われる。3弦1フレットG[#]音は鳴っていないり鳴っていないからするが、ここでは全体をとおしてこのフォームに統一

してある。

③：①からのフレーズの流れて4拍目最後の音だけが違うパターン。これは連指的に次のB⁷へ行きやすくするためだろう。

④：2弦をスライドさせながら同時に1弦開放も弾くという、異路同音フレーズ。

⑤：これも①からのフレーズを少し変化させているパターン。

⑥：③のフレーズをバラした感じ。単純だが、スピード感を重視すること。

⑦：⑤と同様に①の変化型。①のフレーズを1拍前にシフトして、その分空いた最後の1拍分に音がつけられているといった感じだ。実際にはそんなに細かく考えていたわけではなく、このようなペンタトニック・スケールを使ったフレーズが手裏に

なっていて、自由自在に弾けたのだらうと思われる。

⑧：ここは2弦と3弦を押さえたままスライドしているようで、音が凝り合っているのだが、弾き方としてはこんな感じになるだろう。

⑨：ハイ・ポジションから大きくグリス・ダウンしてロー・ポジションで開放を絡めた高速フレーズに入っていく。

⑩：たまたまけるように弾き倒してきたソロを、ここで一旦メロウな感じに落ち着かせている。クォーター・チョーキングがとてブルーじだ。

⑪：ここからもとのテーマに戻り始める。

⑫：1オクターブ上のポジションでキメて締めくくっている。

全弦半音下げチューニング

♩ = 160 N.C.

000' ① 002' 020' ②

E⁷⁽⁹⁾ A⁷

1. B⁷⁽⁹⁾

013' 031' ③

B7^(#9) E7^(#9)

2. B7^(#9) E7^(#9)

E7^(#9) B E7^(#9)

E7^(#9) A7

A7 E7^(#9) E7^(#9)

B7^(#9) E7^(#9) Q.C.

(B γ i $\geq$ 9l)

C E γ i $\geq$ 9l

cho

cho

cho

cho

cho

H C 3
H D p
p

cho

cho

cho

cho

cho

H C
H D P
P

3

[illegible][illegible]

The musical score for 'The Rose Tree' is presented in two systems. The first system begins with a treble clef and a key signature of two sharps (F# and C#). The melody is written in the treble staff, and the bass line is in the bass staff. The melody starts with a B7(9) chord and includes lyrics 'cho' and 'p cho (sta)'. The bass line includes fingerings 12, 15, 15, 14, 12, 15, 12, 12, and 2. The second system continues the melody and bass line, featuring a key change to E7(9) and lyrics 's', 'p', 'h', and 'h'. The bass line includes fingerings 2, 0, 2, 0, 2, 3, 2, 0, 2, 0, 2, 0, 0, 2, 2, and 0. A bracket labeled '108' with a circled 9 is placed under the bass line of the second system.

Musical score for "The Rose Tree" in E major, 2/4 time. The score is written for guitar and includes a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has one sharp (F#). The tempo is marked "Moderato". The score is divided into three measures. The first measure contains the notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4 in the treble and G2, A2, B2, C3, B2, A2, G2 in the bass. The second measure contains the notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4 in the treble and G2, A2, B2, C3, B2, A2, G2 in the bass. The third measure contains the notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4 in the treble and G2, A2, B2, C3, B2, A2, G2 in the bass. The score includes various musical notations such as chords (E7, A7), dynamics (p, f), and articulation (accents, slurs).

A7 E7(♯9)

122 (11)

B7(♯9) E7(♯9)

E7(♯9) [E] E7(♯9)

E7(♯9) A7

E7(♯9) B7(♯9)

B7(♯9) E7(♯9)

146 (12)